

京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科
フィールドワーク・インターンシッププログラム 2011 年度 JASSO 派遣報告書

報告者氏名 原 宏輔

2010 年度 (入学)

1. 研究課題:

**ウガンダ・ルウェンゾリ氷河の氷河後退が、周辺の生態系に与える影響調査、
および、氷河消失がルウェンゾリ山地の周辺民族に与える影響の評価**

2. 派遣期間:

平成 24 年 2 月 28 日 ~ 24 年 3 月 9 日 (10 日間)

3. 今回の派遣により、申請時に自身の目的としてあげた点について得られた知見を述べてください

今回の渡航により、キリマンジャロ山が、過去に調査経験のあるケニア山やルウェンゾリ山と比べ、特異な種類の氷河を持っていることがわかった。ほぼ同じ緯度の地域であるが、降水量の違い・標高の違い（約 1000m）の寄与が予想していたよりも大きいようである。詳細な観測は今回できなかったが、各種気候データを計測してみれば、明確な違いが出てくると思われる。また、降水量自体が少ないこと、氷河が融解でなく昇華してしまうことが多いことが原因かと思われるが、氷河上の微生物量が明らかに少なかった。

4. 自身の今後の海外への渡航や留学に向けた課題や展望について

今回の渡航は、予備調査的なものであり、限定された日程しか取れなかったため、きちんとした観測はほとんど行えなかった。登山のアクセスはキリマンジャロ山は非常に容易であることが今回わかったので、次回は他山の調査とも組み合わせながら、長期の観測を行いたいと考えている。

また、氷河上の微生物に関しても、明瞭にケニア山、ルウェンゾリ山と違っていたのだが、こちらも、今回は限定的なサンプリングしかできなかった。なので、今後、もう少し長めに期間を取って大々的に行っていきたいと思う。

5. 本プログラムに関して意見をお聞かせください。また、今後どのような留学プログラムがあれば参加したいですか？

留学対象とできる国が、もっと増えると良いのではないかと思います。

同様の支援プログラムがあれば、また参加したいです。

よろしくお願い致します。

署名